

平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

男子 3回戦

主審 山崎 仁士

副審 高城 邦弘

京北 99

(東京) ○

20 - 24

20 - 20

27 - 25

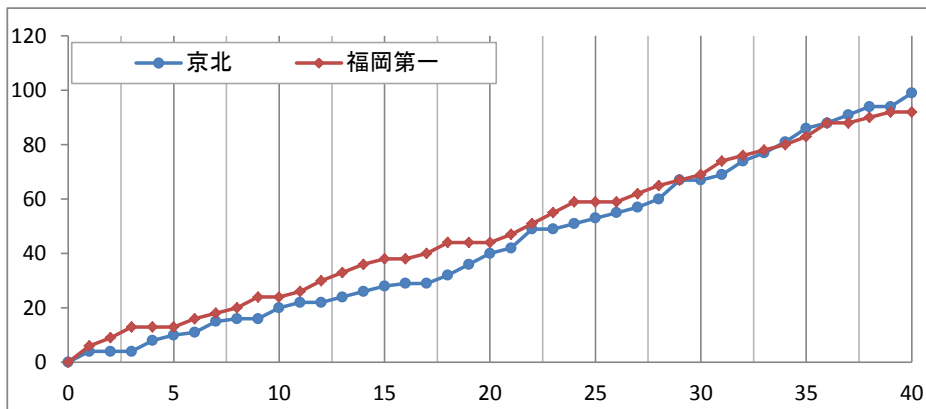
32 - 23

-

92 福岡第一

● (福岡)

No. 31a2 日時: 2013年7月31日(水) 11:40 会場: 別府アリーナ



京北

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 石原 卓 (C)	15	2	4	1	3
5	* 新川 敬大	30	5	6	3	0
6	* 川久保 駿	10	0	3	4	4
7	* 吉川 治耀	24	0	10	4	1
8	吉田 亘	1	0	0	1	0
9	平岩 アンソニーコリン	-	-	-	-	-
10	* 浅見 陸人	17	0	5	7	4
11	小森 敬輔	-	-	-	-	-
12	小林 汰雅	-	-	-	-	-
13	吉田 勇斗	-	-	-	-	-
14	浅香 陽光	2	0	0	2	0
15	盛満 拓郎	-	-	-	-	-
コーチ	田渡 優					
合計		99	7	28	22	12

福岡第一

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 田口 航 (C)	21	1	9	0	0
5	* 奥野 功知	9	0	3	3	0
6	* 時田 康佑	32	6	6	2	4
7	大坪 真吾	0	0	0	0	0
8	* 濱田 健太	5	1	1	0	4
9	三枝 幹司	0	0	0	0	1
10	* エルヴィン・ニヤン	12	0	6	0	5
11	秋山 皓太	7	0	3	1	0
12	張 効広	6	0	2	2	1
13	城間 建伍	-	-	-	-	-
14	井手 優希	-	-	-	-	-
15	河野 佑太	-	-	-	-	-
コーチ	井手口 孝					
合計		92	8	30	8	15

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

第1ピリオド、序盤、福岡第一が#10のReシュートや#6の3Pなどの活躍で4-13とリードする。京北は、先発全員が得点し16-18と2点差に詰め寄る。福岡第一は#11の投入でリズムを変え、16-24と再び突き放す。京北は#5のダブルクラッチからのシュートなどで追撃し、20-24で第1ピリオド終了。第2ピリオド開始早々、京北が#5のシュートで2点差とするが、福岡第一はそこから#6の3Pを含む4連続得点などで11点リードする。京北はたまたずタイムアウト。その後、京北が#7、#5の3連続得点で差を詰め、40-44で前半終了。

第3ピリオド、京北は#5、#7、#10を中心に得点、福岡第一は#6の連続3Pなどで得点して行く。福岡第一は#4の3Pで突き放すが、京北は#5の連続3Pで追撃する。京北は#4のスティールからの速攻で67-67の同点に追いつくが、終了間際に福岡第一の#5がフリースローを2本沈め、67-69で第3ピリオド終了。第4ピリオド、京北#4の3Pが決まり、残り7分で77-76とこの試合初めてリードを奪う。1点差のまま進み、京北が#7のスティールからの速攻で3点リードとなったところで、福岡第一が後半初のタイムアウトをとる。福岡第一の#6が3Pを決めて同点に追いつくが、京北#4のドライブがバスケットカウントとなり福岡第一は2回目のタイムアウトをとる。福岡第一はインサイドの#10にボールを集め追いつくが、京北#6のドライブに対し福岡第一#10は5つ目のファウルをし退場となる。京北はフリースローを2本決め3点差とするが、福岡第一は#6の3Pで再び同点とする。福岡第一は3-2のゾーンDefにチェンジするが、京北#5の3Pが決まる。さらに京北#7のドライブがバスケットカウントとなり6点リードする。ここで福岡第一は最後のタイムアウトをとる。粘る福岡第一は#5、#4の連続得点で2点差とするが、京北は試合を決定づける#4の3Pが決まり、最終的に99-92で接戦をものにした。

記載者 秋田 二郎 (所属) 大分県バスケットボール協会